

平成 15 年 5 月 15 日

日本アイ・ビー・エム株式会社
大 歳 卓 麻IT 基本戦略 への期待

誠に申し訳ございませんが、今回は所用により出席することができませんので、「IT 基本戦略」に関しまして、意見を書面にて提出させていただきます。

まずなによりも、出井座長をはじめ、「IT 基本戦略」の策定に大変精力的に取り組んでこられました「IT 戦略の今後の在り方に関する専門調査会」ならびにご関係の皆様のご努力に敬意を表し、感謝申し上げます。

ブロードバンド・ネットワーク環境の普及に関して、日本が世界のトップレベルに達したことは第一期 IT 戦略の大きな成果であると評価しています。一方で、公的機関であれば国民主体のサービス、企業であれば顧客中心のビジネスと競争力強化、個人であれば就業や生活の利便性に、IT を真に有効活用できているかといえば、まだまだ遅れている面も多いと認識しています。

今回「IT 基本戦略」が IT の戦略的な利活用に重点を置いて、具体的な達成目標を定め、取り組みを加速させる方針を社会に示すことは大変意義深く、一刻も早く世界最先端の IT 国家の実現を達成することを強く期待いたしております。

「IT 基本戦略」の推進にあたって重要と考えることを以下に 3 点申し述べさせていただきます。

1. 構造改革との一体化と組織の枠を越えた抜本的な変革

7 つの先導的な取り組みは、いずれも利用者の視点からわかりやすく示されており、実現が期待されるものです。どの取り組みにも共通しますが、利用者の要求は変化に富んでおり、あらゆる要求に即応してサービスを提供できるようにするには、関係する全ての組織が端から端まで接続・統合され、各々の役割を果たす必要があります。

このような柔軟な価値の連鎖を全体として効率よく行うには、重複や冗長を廃し、部分最適でなく全体最適を追求したうえで、各組織が求められる役割に集中できるように、業務のやり方や流れを抜本的に変革していかな

ければなりません。また同時に、阻害要因となる規制や制度、慣行があれば見直しが求められますし、より多くのサービス提供者が参加し強みを生かして競争力を高めていく環境作りも必要になります。

こうしたことはまさに構造改革にほかならず、「IT 基本戦略」は構造改革と一体のものとして強力に推進いただきたくお願いいたします。

２．強力なリーダーシップと関係機関の連携

上述のとおり、IT の利活用を高度化し、利用者の要求に応じて質の高いサービスを提供していくには、様々な改革が要請されます。IT の利活用とは、情報システムの構築よりも、むしろ戦略実現のために変革を実行する手段であることがより本質的であり、これには強力なリーダーシップが不可欠です。同時に、先導的な取り組みのように、組織を越えて全体を統合し、社会レベルでの最適化を目指すには、関係機関が利害を越えて積極的に連携・協力していくことが必須になります。

「IT 基本戦略」の実行にあたってリーダーシップを発揮できるのは、総理をおいてほかになく、小泉総理におかれましては、ぜひとも強力なリーダーとして陣頭指揮をおとりいただけますようお願い申し上げます。

３．企業と個人のグローバルな活動を支える IT 技術基盤

企業や個人の活動はグローバル化しており、これを支える日本の IT 基盤は、世界に開かれ融合していく必要があります。このため、日本の情報システムは世界的にオープンな標準技術のうえに構築され、国外の情報システムとの相互運用性が確保されることが必須の要件と考えます。

情報技術、通信技術、人材のスキルなどの技術面では、世界に確立した標準技術があれば積極的に採り入れると同時に、日本が国際競争力を発揮しリーダーを目指す技術分野では、世界的な標準確立を先取りし、必ずグローバルな市場を視野に施策を展開いただきたいと考えます。

また、IT の利活用が進展するにつれて、経済活動、国民生活を支える社会基盤として、IT 基盤の重要度は一層高まります。IT 基盤には外部のあらゆる脅威に対して堅牢に耐えることが求められ、セキュリティ確保への取り組みは更に強化していく必要があると考えます。

以 上